

(一般情報)

耕畜連携はこれからどうする？

～令和5年度第2回安房地域耕畜連携連絡会議を開催しました～

安房農業事務所改良普及課 令和5年12月5日発

安房農業事務所では、畜産農家の飼料自給率向上と水稻農家及びコントラクターとの需給マッチング、市町・JA等の関係機関を含めた連携強化を目的とし、令和4年度から稲WCSを中心とした耕畜連携連絡会議を開催しており、11月29日に通算3回目の会議を行いました。

当日は生産者、関係機関合わせ19名が参加し、安房地域における稲WCSの品質向上の在り方（雑草防除、適期刈取、茎葉型専用品種への移行等）、コントラクターの今後の意向、畜産農家の要望等について情報共有・意見交換をしました。特にコントラクターの機械投資は、飼料作物の種類により収穫機械が変わる場合があり、畜産農家の需要、意向が非常に重要なため、「本当に欲しいエサは何なのか？」という議論が交わされました。農業事務所では自給飼料をめぐる農家や関係機関の取り組みを支援していきます。



「稲WCSも牧草も良いが、一番欲しいのは飼料用トウモロコシだ」
という畜産農家からの意見がありました。